

歯ブラシの輸出

平成28年5月23日
大阪税関調査部調査統計課

平成27年の歯ブラシの

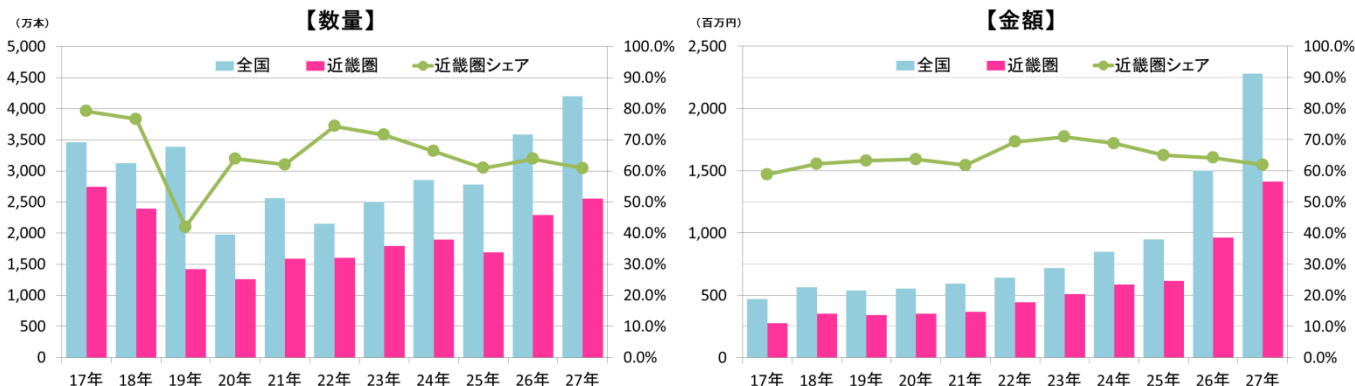
- 全国の輸出数量および輸出金額、近畿圏の輸出金額は**過去最高**を更新！
- 経済圏別の輸出シェアは近畿圏が**No.1**！
- 近畿圏からの輸出は数量・金額ともにアジア向けが**9割超**！

毎年6月4日～10日の1週間は「歯と口の健康週間」です！歯と口の健康維持の主役ともいえる歯ブラシですが、実は近畿圏とは深いつながりがあります。そこで、今回は歯ブラシの輸出について特集しました。

明治中期以降、河内地方の農家の副業として歯ブラシ作りが盛んになりました。歯ブラシ製造業は八尾市や東大阪市をはじめとした近畿の地場産業として発展し、今日では日本の歯ブラシ生産の中心となっています。近年、歯ブラシの輸出は大きな伸びを示しており、その多くが近畿圏からの輸出となっています。

職人たちが磨いた技術が現代に引き継がれ、近畿圏から輸出される歯ブラシは世界の人々の歯と口の健康を守っています。

【歯ブラシの輸出推移】



- 全国の輸出数量は2年連続、金額は8年連続で増加。数量・金額ともに過去最高。
- 近畿圏も輸出数量は2年連続、金額は8年連続で増加。金額は過去最高。

全国の平成27年の輸出数量は4,201万本で2年連続の増加、輸出金額は22.8億円で8年連続の増加となり、輸出数量・金額ともに過去最高を更新しました。

近畿圏の平成27年の輸出数量は2,556万本で2年連続の増加、輸出金額は14.1億円で8年連続の増加となり、輸出数量については過去最高である平成17年の2,745万本に次ぐ歴代2番目、輸出金額については過去最高を更新しました。

近畿圏の全国に占める割合は非常に高くなっており、数量は8年連続、金額は10年連続で6割超で推移しています。

(注1) 本特集における歯ブラシは、統計品目番号9603.21-000「歯ブラシ(義歯用ブラシを含む。)」に分類されるものを集計しています。

(注2) 本特集における経済圏は以下の都府県を含むものです。

近畿圏: 大阪、京都、兵庫、滋賀、奈良、和歌山の2府4県

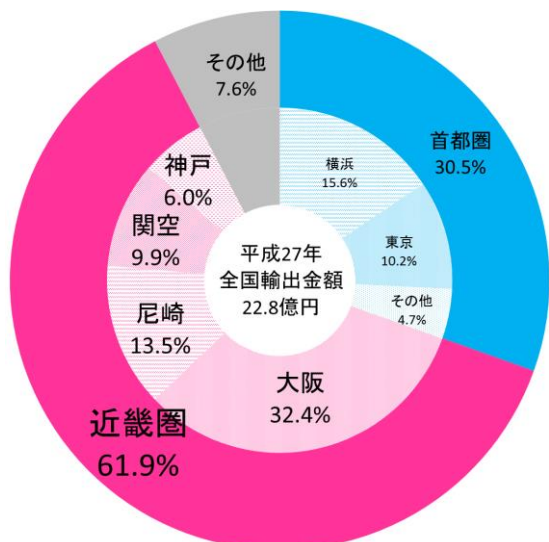
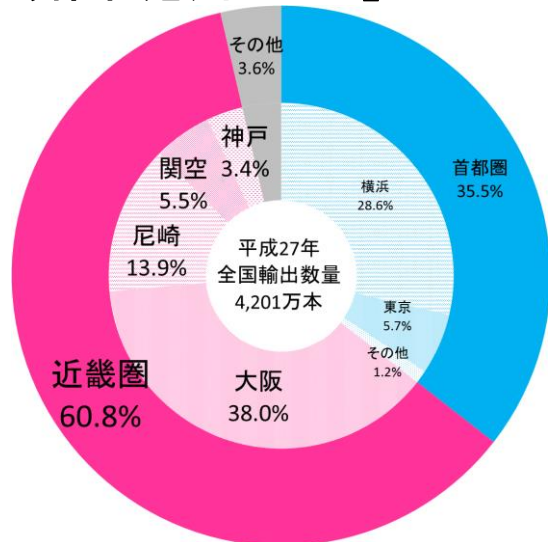
首都圏: 東京、千葉、神奈川、茨城、栃木、群馬、埼玉、山梨の1都7県

※本資料を他に転載するときは大阪税関の資料に基づく旨を注記してください。

※本資料に関するお問い合わせは大阪税関調査部調査統計課まで。(電話06-6966-5385)

大阪税関ホームページ(<http://www.customs.go.jp/osaka/>)

【経済圏・港別シェア】



○平成27年の経済圏別シェアは近畿圏が数量・金額ともに第1位。

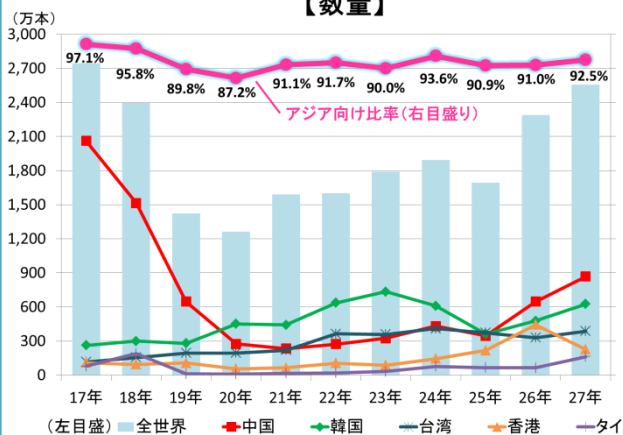
○港別シェアは大阪港が第1位。その他の近畿圏の港・空港も上位。

平成27年の歯ブラシの輸出の近畿圏の全国シェアは数量で60.8%、金額で61.9%となり、他の経済圏を大きく引き離し全国トップとなっています。

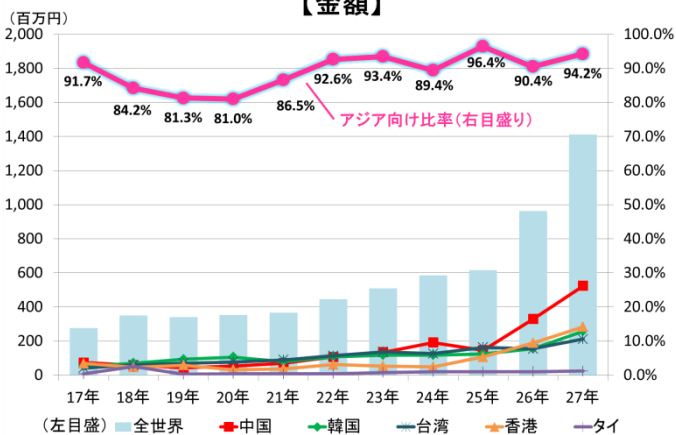
港別シェアでは大阪港が数量38.0%、金額32.4%で第1位となっています。また、尼崎港、関西空港、神戸港の近畿圏の港・空港も上位となっています。

【近畿圏からアジア向けの輸出推移】

【数量】



【金額】



○アジア向けの輸出が数量・金額とも8割以上で推移。

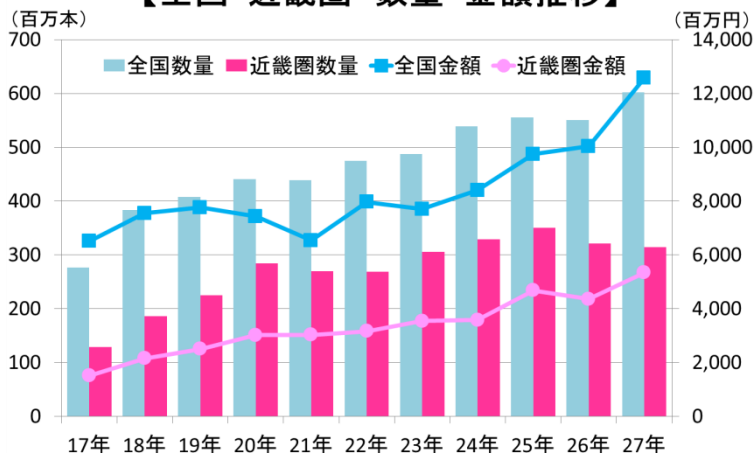
○国別では中国が数量・金額ともに2年連続で第1位。

近畿圏からの輸出を地域別でみると、アジア向けの輸出が数量・金額とも8割以上で推移しており、平成27年は数量で92.5%、金額で94.2%となっています。

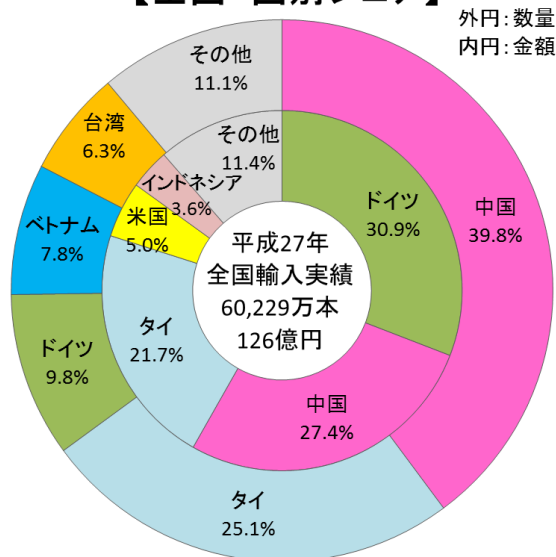
国別でも上位の多くがアジア諸国となっており、中国が数量・金額ともに2年連続第1位となっています。その他、韓国、台湾、香港、タイなどへも多く輸出されています。

【参考：歯ブラシの輸入】

【全国・近畿圏 数量・金額推移】



【全国 国別シェア】



歯ブラシの輸入においても近畿圏は高い全国シェアで推移しています。平成27年の全国の歯ブラシの輸入は6億229万本、126億円となり、近畿圏は3億1,464万本で全国シェア52.2%、53億円で全国シェア42.5%となっており、数量・金額ともに経済圏別で全国トップとなっています。

また、全国の輸入国別シェアでは数量で中国、タイ、ドイツ、ベトナム、台湾の順、金額でドイツ、中国、タイ、米国、インドネシアの順となっています。

【まとめ】

近畿圏の 地場産業

- ・長年培われた技術により生産される高品質な製品
- ・多様な歯ブラシのラインナップ

アジアで の需要増

- ・日本製品への安心感・信頼感
- ・高付加価値品への需要の増加

平成27年歯ブラシの輸出
数量過去最高！

（全国）

金額過去最高！

（全国・近畿圏とも）

歯の健康への関心の高まりを背景に、歯ブラシの種類は年々多種多様になっているようです。豚毛などの動物の毛を使った歯ブラシや、ヘッドが小さい奥歯専用のもの、一本の柄に複数のブラシが付いた一度にたくさん顔を磨けるものなどユニークなものもたくさんあります。最近ではスマホと連動し、磨き残しのチェックや歯ブラシ習慣の記録をしてくれるものもあるそうです。

業界では、

- ・近畿の地場産業として長年培われてきた技術により生産された歯ブラシの品質の高さ、用途・形状・材質など多種多様な特徴を持った歯ブラシのラインナップが海外で評価されている点
- ・アジア諸国での日本製品への安心感・信頼感や富裕層を中心とした高付加価値品への需要の増加といった要因が近年の輸出増加につながっているのではないかとみています。

今後も近畿を中心とした日本の「モノづくり」の精神で“磨かれた”歯ブラシの輸出に注目していきたいと思えます。